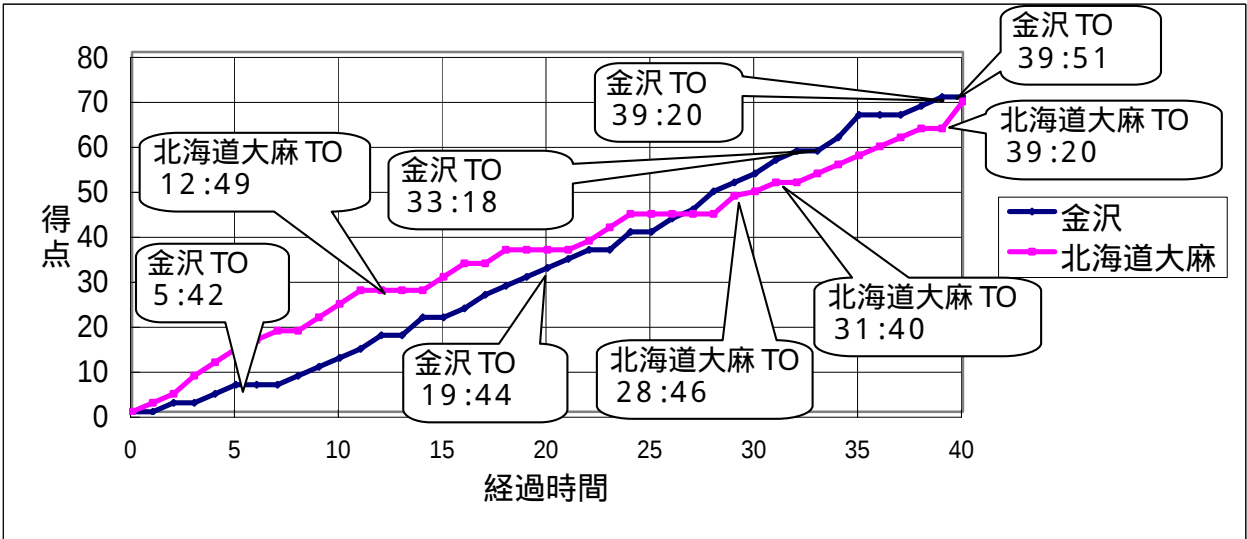


大会名	平成19年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会第60回全国高等学校バスケットボール選手権大会	G4	15:00	男子 2回戦
期日	2007年（平成19年）7月30日（月）	金沢 70	石川 ○	12 - 24 20 - 12 21 - 13 17 - 20 - 69 北海道大麻 ● 北海道
会場	唐津工業高等学校			

主審 水 島 真一郎 副審 御 手 洗 亮



金沢

No.	氏 名	点	3P	2P	FT	F
4	広瀬 誠	9	2	1	1	2
5	東 壤	8	0	4	0	1
○ 6	瀬戸 拓也	4	0	2	0	0
7	林 大悟	10	1	3	1	0
8	那谷 一樹	6	0	3	0	2
○ 9	柴田 祐希	11	1	4	0	0
○ 10	表 冴々朗	8	0	4	0	1
11	重田 統哉	0	0	0	0	0
○ 12	北村 裕樹	14	0	7	0	1
13	寺井 海	0	0	0	0	0
14	島田 渉平	0	0	0	0	0
15	地中 翔	0	0	0	0	0
16						
17						
18						
コーチ	大館 慶徳					
	合計	70	4	28	2	

北海道大麻

No.	氏 名	点	3P	2P	FT	F
4	荒井 祐人	6	0	2	2	3
○ 5	金田 悠平	0	0	0	0	1
6	永井 裕康	1	0	0	1	2
○ 7	福田 真生	18	2	6	0	2
○ 8	濱名 駿	22	6	1	2	2
9	鈴木 康介	6	0	3	0	0
○ 10	近藤 圭太	14	4	1	0	2
11	斉藤 高志	0	0	0	0	0
12	桐井 理貴	2	0	1	0	0
13	小林 千尋	0	0	0	0	0
14	工藤 亮太	0	0	0	0	0
15	竹田 篤	0	0	0	0	0
16						
17						
18						
コーチ	長野 雅男					
	合計	69	12	14	5	

○はスターター（はキャプテン） 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦 評

共に昨日の一回戦を接戦で勝ち上がってきた金沢と北海道大麻の対戦は、最後の最後まで息づまる熱戦が続いたが、70対69で金沢が逃げ切り、明日の3回戦に駒を進めた。

第1P、両者ともハーフコートマンツーマンでスタートする。金沢は相手の高さを意識してか、シュートが入らない。一方北海道大麻は、#8 濱名の3本の3Pをはじめ多彩な攻撃で主導権を握り12対24とリードを奪う。

第2P、金沢が1 - 2 - 2のゾーンを敷くと北海道大麻のオフェンスリズムが悪くなり、単発的な外のシュートだけになってしまう。逆に#4 広瀬を基点とした本来のオフェンスを展開する金沢が点差をつめて32対36とし、前半を終了する。

第3Pに入ってもオフェンスリズムが悪い北海道大麻は中盤の約4分間無得点が続く。その間バランスよく攻めた金沢が残り4分を切ってついに逆転し、53対49で第3Pを終了する。

第4P中盤、2本の速攻で金沢がリードを2桁に広げる。しかし、ここから北海道大麻は#7 福田のゴール下を皮切りにジリジリと差をつめ、#8 濱名の3Pで70対69の1点差とする。そして残り9.1秒で金沢はバックパスのミスを犯し、さらに残り0.5秒で2本のフリースローを与え絶体絶命のピンチを迎える。しかし、これを北海道大麻#5 金田が2本ともミスし、劇的な幕切れとなった。

記事者 池田 聖司 (所属) 佐賀県バスケットボール協会